

大学日语四级考点系列丛书

大学日语

四级

よんきゅう

だいがくにほんご

语法 考点



王禾 王玉英 / 主编



- 特邀全国日语教学第一线的著名教授、专家编写。
- 本书对大学日语四级考试的重点、疑点、难点具有针对性。
- 对于参加日语国际能力测试及其他日语考试具有指导意义。
- 显著提高日语学习者综合能力和阅读能力。

沈阳出版社

大学日语四级考点系列丛书

大学日语四级语法考点

主 编 王 禾 王 玉 英
副主编 王善友 王立欣
赵伟秋 李凌云
陈箭波

沈 阳 出 版 社

图书在版编目 (CIP) 数据

大学日语四级语法考点/王禾·王玉英编著. —沈阳: 沈阳出版社, 2003. 4

(大学日语四级考点系列丛书)

ISBN 7-5441-2050-3

I. 大… II. ①王…②王… III. 日语—语法—高等学校—水平考试—自学参考资料 IV. H364

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2002) 第 102030 号

出版者: 沈阳出版社

(地址: 沈阳市沈河区南翰林路 10 号 邮编: 110011)

印刷者: 沈阳市北陵印刷厂

发行者: 沈阳出版社

开本: 850mm×1168mm 1/32

印张: 9

字数: 180 千字

出版时间: 2003 年 4 月第 1 版

印刷时间: 2003 年 4 月第 1 次印刷

责任编辑: 王继光 张晶

封面设计: 李锋

版式设计: 李锋

责任校对: 何力

责任监印: 杨旭

定 价: 15.60 元

联系电话: 024-24112809

邮购热线: 024-24124936

E-mail: sysfax_cn@sina.com

总 序

全国大学日语四级考试在国家教育部统一领导下,经历十年的统考,已经同大学英语四、六级考试一样,受到国内各高等院校的高度重视,大学日语四级考试基本覆盖全部有公外日语教学的院校。

大学日语四级考试通过与否,不但是当前各院校考核大学生日语学科成绩的主要指标,而且已成为某些院校授予学位的指标之一,同时也是国内人才市场和各机关、企事业等单位用人的重要参考指标之一。

然而,当前大学日语四级考试的通过率还并非十分理想。针对这种情况,我们根据《大学日语四级考试大纲》,根据长期教学经验和辅导学生四级考试的实践,针对考生在考试中容易出现的错误和问题,编写了《大学日语四级考点系列丛书》。丛书按四级考试的题型分为四本(未含听解部分),即《大学日语四级词汇考点》、《大学日语四级语法考点》、《大学日语四级读解考点》和《大学日语四级作文考点》。通过对上述四大题型中的基本考点进行较为详细的指导、讲解和学生的大量实践,以期提高学生的应试能力和四级通过率的同时,提高学生的语言应用能力,促进学生从知识型向能力型转化。

在编写过程中,既注重了应试性和效率性,又考虑到了基础知识的广泛性和通用性,在指导和讲解中力求提

纲挈领、简明扼要、深入浅出、画龙点睛,使学生能举一反三、闻一知十、触类旁通,产生高效率、多收益的效应。

本丛书参考了大量的国内外最新资料,集同类书籍之精华编撰而成,书中所列举的考点具有普遍性、代表性、基础性和实用性,作为应试指导,读者只要认真阅读、研究,认真做练习,定会大有裨益。

本丛书除了可作为参加大学日语四级考试和研究生入学考试的考生的自学参考书外,亦可作为教师指导大学日语四级考试和考研的辅导教材。

由于选材难度较高,编者水平有限,难免有疏漏和错误之处,恳请读者批评指正。

编者

2003年3月

前 言

根据《大学日语教学大纲》的规定,在语法方面,要求学生“掌握基本语法知识,理解常见语法现象,并具有在语篇水平上运用语法知识的能力。”在掌握和理解基本语法知识和语法现象的基础之上,更加注重在句子水平上实际运用语法知识的能力和惯用的表达方式。

参加大学日语四级考试的考生基本上掌握了日语的基本语法知识,并且具备一定遣词造句的能力。由于篇幅所限,在此不再加以赘述。考生普遍感到头痛的是一些惯用的表达方式,并且在语法书上又很难查到。从应试和提高日语实际运用能力的角度上,我们参照《大学日语教学大纲》编写了这部《大学日语四级语法考点》,着重对一些重点惯用的表达方式进行介绍,以起到画龙点睛的作用。

如能对参加大学日语四级考试及其他各种日语考试的考生有所裨益,则不胜荣幸。

大学日语四级考试语法构句部分共 20 小题,为第 51 题至第 70 题。本书所精选的 223 个语法句型及惯用形,均为参加日语高等级考试所必须掌握的。除了能应付大学日语四级考试之外,对日语水平的全面提高将会起到很大作用。

编 者

2003 年 3 月

目 录

1. あげく/あげくに/あげくのはてに	1
2. あたかも	1
3. あたり/あたって	1
4. あっての	2
5. あまり	2
6. いかんによらず/いかんにかかわらず/いかんを問わず	2
7. 以上/以上は	3
8. 一方だ	3
9. いまさら	3
10. いまにも	4
11. いよいよ	4
12. うちに	5
13. …(よ)うが…まいが/…(よ)うと…まいと	5
14. …(よ)うにも…ない	5
15. おかげ	6
16. おのずから/おのずと	6
17. おまけに	6
18. およばない(及ばない)	7
19. かぎり/かぎりは/かぎりでは	7
20. かぎりだ	8
21. かこつけて	8
22. がたい	9

23. が最後	9
24. かたがた	9
25. かたわら	10
26. がちだ/がちの	10
27. がてら	11
28. かと思うと/かと思ったら/と思うと/と思ったら	11
29. かねる	11
30. かねない	12
31. が早いか	12
32. からある/からの	13
33. からいうと/からいえば/からいって	13
34. からして	13
35. からすると/からすれば	14
36. からといって	14
37. からは/からは	15
38. ぎみ(気味)	15
39. きらいがある	15
40. きり	16
41. 極まる/極まりない	16
42. くせに/くせして	17
43. くらい/ぐらい	17
44. げ	18
45. ことか	18
46. ことから	18
47. こととて	19
48. ことなしに	19

49.これといった/これといって	19
50. 最中	20
51. さえ/できえ	20
52. さえ…ば	21
53. さしつかえない	21
54. さすが	21
55. ざるをえない	22
56. 強いて言えば	22
57. しかも	23
58. しまい	23
59. しまつた(始末)だ	24
60. じゃあるまいし/ではあるまいし	24
61. ずくめ	25
62. ずにはいられない	25
63. ずにはおかない/ないではおかない	25
64. ずにはすまない/ないではすまない	26
65. すら/ですら	26
66. すると	26
67. せい	27
68. そう	27
69. そこで	28
70. そこそこに	28
71. そのもの	28
72. そばから	29
73. それが	29
74. それというもの	30

75.たえない	30
76.だけあってだけに/だけの(ことはある)	31
77.ただし	31
78.ただ…のみならず	32
79.たといたとえ	32
80.たところで	32
81.だに	33
82.たびに	33
83.だらけ	34
84.たりとも	34
85.たる	34
86.ついでに	35
87.つけ	35
88.…つ…つ	35
89.つつ(ある)	36
90.っぱなし	36
91.っぽい	37
92.つもりで	37
93.てからでないといからでなければ	38
94.てからというもの	38
95.てたまらない	39
96.てっきり	39
97.てまえ(手前)	39
98.でなくてなんだろう/でなくてなんであろう	40
99.てやまない	40
100.と相まって	41

101.とあって	41
102.とあれば	42
103.…といい…といい	42
104.ということだ	42
105.というところだ/といったところだ	43
106.というもの	43
107.といえども	44
108.といったら(ありはし)ない	44
109.と思いきや	44
110.ときたら	45
111.どころか	45
112.ところで	46
113.どころではない/どころではなく	46
114.ところに/ところへ/ところを	46
115.として	47
116.とともに	47
117.とはいえ	47
118.とばかりに	48
119.とひきかえ/にひきかえ	48
120.とも(共)	49
121.ともあれ	49
122.どうやら	49
123.ともなく/ともなしに	50
124.ともなると/ともなれば	50
125.とりわけ	51
126.とわず(問わず)	51

127. ないことには	51
128. ないことはない/ないこともない	52
129. ないまでも	52
130. ないものでもない	53
131. なお	53
132. ながらに	53
133. ながらも	54
134. なくして	54
135. なしに(は)	55
136. なぜなら	55
137. なまじ	56
138. なみ(並)	56
139. ならでは	57
140. なり	57
141. に(は)あたらない	58
142. にあって	58
143. に至る/に至るまで/に至って(は)/に至っても	59
144. にかかわる	59
145. にかかわらず/にかわりなく/にはかかわりなく/にも かかわらず	60
146. に限って/に限り	60
147. にかけては/にかけても	61
148. にきまっている	61
149. に加えて/加え	62
150. にこたえて/にこたえ/にこたえる	62
151. に先立って/先立ち/先立つ	62

152.にしたがって/したがい	63
153.にして	63
154.にしては	64
155.にすぎない	64
156.に相違ない	64
157.に即して/に即した	65
158.に足る	65
159.につき	65
160.につれて/につれ	66
161.…に…て	66
162.に伴って/に伴い/に伴う	66
163.…には…が	67
164.に反して/に反し/に反する/に反した	67
165.にひきかえ	68
166.にほかならない	68
167.に基づいて/に基づき/に基づく/に基づいた	68
168.…にも…ない	69
169.にもまして	69
170.にわたって/にわたり/にわたる/にわたった	70
171.ぬき(抜き)	70
172.ぬく	71
173.の至り	72
174.の極み	72
175.のみならず	72
176.はおろか	73
177.ばかりに	73

178.ばこそ	74
179.ばそれまでだ	74
180.はともかく	74
181.はもちろん	75
182.はもとより	75
183.控えて	76
184.ぶり	76
185.反面	77
186.べからざる	77
187.べからず	77
188.べく	78
189.まさか	78
190.まじき	79
191.またとない	79
192.まで(のこと)だ	80
193.までもない/までもなく	80
194.まみれ	81
195.向け	81
196.むしろ	81
197.無理からぬ	82
198.もさることながら	82
199.ものだ	83
200.ものだ	83
201.ものか/もんか	84
202.ものなら	84
203.ものの	84

204.ものを	85
205.や/や否や	85
206.やむをえない	86
207.ゆえ/ゆえに/ゆえの	86
208.よかった	86
209.よほど	87
210.ろくに	88
211.わりに/わりには	88
212.をおいて	88
213.を限りに/の限り	89
214.を皮切りに(して)/を皮切りとして	89
215.をきっかけに(と)	90
216.を禁じ得ない	90
217.をめぐって	91
218.をもって	91
219.をものともせずに	92
220.を余儀なくされる/を余儀なくさせる	92
221.をよそに	93
222.んがため/んがために/んがための	93
223.んばかりだ/んばかりに/んばかりの	93
练习题第一部分	95
练习题第二部分	185
练习题第一部分答案	253
练习题第二部分答案	258
大学日语四级考试试卷语法构句部分试题	262

1. あげく/あげくに/あげくのはてに

表示“最终,结果”之意,后句多向消极方向发展。

- △彼女はさんざん迷ったあげく安物を選んだ/她犹豫了好久,最终还是选择了便宜货。
- △無理な練習のあげく健康を害してしまった/过度训练的结果损害了健康。
- △さんざんお酒を飲んだあげくにぐうぐう寝てしまった/大量饮酒后呼呼大睡起来。
- △彼は取引先とけんかし、上司ににらまれ、あげくのはてに職を失った/他和客户争吵,惹恼了上司,结果把饭碗丢了。

2. あたかも

表示“恰似,如同,好像,仿佛,正好”之意,后接“…のような”“…のごとし”等比喻形式。

- △今日は好天気に恵まれ、あたかも日曜のこととて行楽地もにぎわいを見せている/今天天气很好,如同是星期天一样,游览地也呈现一派热闹景象。
- △人生はあたかも春の夢のごとく過ぎてゆく/人生像春天的梦一样短暂。

3. あたり/あたって

以“…にあたり/あたって”的形式,表示“在…之际,在…之时,在…情况下”之意。

- △社長に就任するにあたって、経営方針を明確に社員に告げた/

在就任总经理之际,向公司职工明确宣布了经营方针。

△開会にあたって一言ご挨拶を申し上げます/正值开会之际,我简单说几句。

4. あつての

一般以“AあつてのB”的形式,表示A为先决条件,只有存在A的条件,才能产生B。

△日々の練習あつての勝利だ/平时下功夫的成果。

△学生あつての教師ですね。逆に学生に教えられることも多いですよ/有了学生才有老师。有许多情况下反倒要向学生学习。

△命あつての物種/有了生命才有一切。

5. あまり

以“AあまりB”的形式,表示A的程度之甚,由此产生B,此句型多富有感情色彩。

△うれしさの余り彼はないた/他高兴得哭了。

△驚きのあまり、声も出なかった/吃惊得说不出话来。

△苦しさのあまり、自殺を考えた/痛苦之余考虑到了自杀。

6. いかんによらず/いかんにかかわらず/いかんを問わず

表示“不论,不管,不分”等意,主要用于郑重的场合。

△理由のいかんによらず、遅刻は認めない/无论理由如何也不允许迟到。

△天候のいかんにかかわらず、予定通り出発する/无论天气如何都要按计划出发。